

基山町

No.79

令和3年第3回定例会

9月議会

議会だより

基山町議会 検索

町議会ホームページ
<https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/>



【特集】

地域公共交通の「未来像」
自家用車なしでも便利な町へ

安全運転に心掛けます

令和3年10月31日発行

自家用車なしでも便利な町へ



今から乗車、基山駅方面へ



基山駅に向かってGO！



満杯になったら「きのくにポイント」へ交換

自家用車は生活必需品

皆さまはご存じですか？

なんと、基山町は2年連続で佐賀県版「街の住みこちランキング」第3位に入っているのです。

その理由は「福岡の中心地に出やすい」、「自然が適度であり買い物に困らない」などがあげられています。

でも、これは自家用車が

あるから住みやすいということではないでしょうか？

買い物や通勤を含め、私たちの移動手段のほとんどは車です。

もし車がなかったら

私たちはこの町に安心して健やかに暮らし続けられるのでしょうか？これは誰もが不安に思うことです。

そして、その重要な鍵を

握るのがコミュニティバスなどの地域公共交通ではないでしょうか。

この度、町はその充実を図ろうと新しい取り組みを始めました。

今後、私たちの町はどのように変化していくのか。

今回の特集は「町民の足」、地域公共交通に焦点を当て、その取り組みについてお知らせしたいと思います。

今までの利用者の声

高齢者が多いから近いバス停がほしい。
(憩の家利用者)

病院や買い物に行きたい。便数を増やしてほしい。
(本桜線)

階段がキツイ。バス停を作ってほしい。
(総合公園利用者)



地域公共交通の「未来像」

本桜線が「1日5便」に



本桜線を運行する運転手さんたち

基山町では、移動手段を持たない町民の生活を支えようと、平成26年からコミュニティバスの運行を開始、今年で7年になります。今までの見直しにより便利さは向上してきましたが、まだ1日4便しか運行していない不便な地域があるのも事実です。特にバスの増便を切望していたのが本桜線（神の浦、きやま台方面）の方々でした。この度、念願であった本桜線の増便が実現、これは行政が町民に寄り添おうとした努力の結果です。

基山町が目指す独自の公共交通

今の基山町

今は3つの公共交通

鉄道

コミュニティバス

タクシー

連携を強化



自家用車有償旅客運送

スクールバス

福祉輸送

その他、病院、スーパー等の送迎サービスなど

基山町の輸送手段を総動員

便利で住みやすい基山町

どんな公共交通計画なの？

今の基山町には公共交通が3つしかありません。

今後、町は町内にあるさまざまな交通機関と連携し、町の移動をもっと便利にしようとしています。

一日でも早くこの計画が実現すれば、私たちは安心して免許を返納できますね。

交通不便地域の解消に向けて

基山町は新たな一歩を踏み出しました。今後、どのような施策をもって、町内の交通不便地域に対応するのが重要課題だと考えます。

公共交通に限らず、町民に優しい町だと評価されるよう、小さな声も大事にしながら施策の推進を図ってみたいと思います。

(中村絵理)

第2回臨時会（7月19日）

亀の甲ため池の請願はどうなった

請願第1号

亀の甲ため池に関する請願書

令和3年5月27日

提出者 亀の甲ため池水利組合 組合長 埋金 正
紹介議員 鳥飼 勝美

請願内容（抜粋）

1. 今後、ため池管理の継続及び中山間地農業振興の観点から、ため池整備事業の組合に対する負担金を免除されること。
2. ため池流入部からの逃がし水路である公有水面の拡充を実施すること。
3. ため池の所有権移譲に伴う登記事務（相続登記含む）を、嘱託登記として基山町が実施すること。

議会は、請願書を受理し審査を行うために、6月議会で関係議案である、議案第22号を**継続審査**、議案第24号を**一部修正可決**とし、6月議会閉会后、請願者と町執行部への意見聴取を行い、慎重に審査した。

請願 審査報告

1. 負担金免除は、他のため池との公平性や、様々な負担金の公平性の問題に波及することから、応分の受益者負担は必要であるため**不採択**とする。
2. 公有水面の拡充は、洪水吐が設計基準を満たすことから、ため池に放流するのが安全であるため**不採択**とする。
3. 嘱託登記は、町が実施すると示しているため**採択**とする。



亀の甲ため池で現地調査

反対討論

負担金免除を、各々に対応すれば、これまで一定の負担金を支払った組合や個人から疑義や不満も生じる。今後、このような事業が成り立たない。公平性の立場から受益者負担は必要であり免除は反対である。

賛成討論

ため池の機能は農業の水利活用と、大雨時の降水調整、土砂防止など災害時の調整池機能もある。今後、少子高齢化で地元管理ができないなど、多くの問題があることから、負担金免除に賛成する。

臨時会の採決結果

賛否が分かれた議案

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 退 退席 除 除斥 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	賛否表											
		1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	
		中村 絵理	天本 勉	松石 健児	大久保由美子	末次 明	栗野 久明	河野 保久	鳥飼 勝美	大山 勝代	品川 義則	松石 信男	
請願 1	請願内容 1 (4 ページ参照)	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
	請願内容 2 (4 ページ参照)	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
	請願内容 3 (4 ページ参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案22	県営土地改良事業負担金に係る分担金徴収に関する条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
議案27	令和3年度一般会計補正予算 (第4号)	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	

第3回定例会 (9月6日~24日) の採決結果

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案28	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	議案32	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)
議案29	基山町税条例の一部改正について	議案33	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)
議案30	令和2年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	議案34	令和3年度下水道事業会計補正予算 (第2号)
承認4	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度一般会計補正予算 (第5号))	議案35	令和3年度一般会計補正予算 (第8号)
承認5	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度一般会計補正予算 (第6号))	認定1	令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定
議案31	令和3年度一般会計補正予算 (第7号)	認定4	令和2年度下水道事業会計決算の認定

賛否が分かれた議案

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 退 退席 除 除斥 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	賛否表											
		1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	
		中村 絵理	天本 勉	松石 健児	大久保由美子	末次 明	栗野 久明	河野 保久	鳥飼 勝美	大山 勝代	品川 義則	松石 信男	
認定2	令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
認定3	令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	

税制改正は分かりやすい広報を

審査、調査
の担当課

総務企画課・財政課・税務課
まちづくり課・出納室・教育学習課

総務文教常任委員会

第3回定例会 議案審議

基山町税条例の一部改正

特定一般医薬品購入費を支払った場合の医療費控除の特例（セルフメディケーション税制）見直し

問

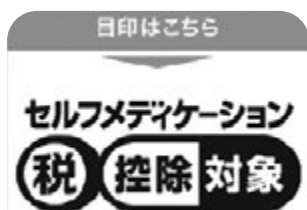
療養の給付として支給される薬剤との代替性が特に高い一般用医薬品等の使用を促進する観点から見直されたが、この税制は町民に十分な周知がされているのか。

答

今後は町民に理解していただくよう取り組む。

提案

広報きやま等で広報する際は、専門用語で解説するだけでなく、町民に分かりやすい説明文にして周知を図ること。



特定一般医薬品の目印

一般会計補正予算

教育支援センター開設

117万円



保健センター2階に設置

問

センター開設に伴う会計年度任用職員の内容はどのようなのか。対象となる児童生徒や必要な備品はどのようなものか。

答

設置場所は保健センター1・2階の和室で午前9時30分から午後2時30分まで、1名で対応予定である。学校やスクールソーシャルワーカー等と連携していく。対象は学校に登校できていない児童生徒である。センター内備品については利用者の状

況に応じたものを考えている。

提案

利用者・保護者に、きめ細かな対応を取ることと、利用者の状況に対応できる資格を有した職員を採用すること。

各学校に検温機器を追加設置

120万円

問

新型コロナウイルスの拡大防止のため、町内3小中学校に各2台非接触型検温機器を追加設置する事業。各学校の児童生徒数に差があるが校舎のどこに設置するのか、密とならないのか。

答

すでに校舎内には検温機器を設置しており、今回は校舎入り口下駄箱や廊下に設置を予定している。密にならないように検討しており、必要に応じて買い増すことも想定している。

提案

児童生徒は自宅検温して登校していることで、検温機器を設置することで密にならないように場所の選定などに配慮すること。

所管事務調査

キャンプ場を楽しい場所に

基山町キャンプ場は開設30年を経過し、利用者の形態も変化している。現状の設備や規約では利用者のニーズに対応できていない。当委員会としては、新しいニーズに答えるため対象者を精査し、キャンプ場周辺の地域全体で整備計画を進めるよう提案した。



キャンプ場視察の様子

水門付近の基肆城南門跡広場

町は基山（きざん）登山や基肆城史跡を散策する来訪者用のトイレを備えた広場を計画している。上流には平成30年規模の豪雨にも対応できる治山ダムが建設されており安全との説明を受けた。当委員会としては、多目的に利用できる広場とするよう提案した。

度重なる豪雨災害にどう対応する

厚生産業常任委員会

審査、調査
の担当課

住民課・健康増進課・福祉課・こども課
産業振興課・定住促進課・建設課

第3回定例会 議案審議

災害復旧費の専決処分

8月豪雨災害土砂撤去および測量委託分 8780万円

問 今後、災害復旧をどのように対応していくのか。

答 林道の被災した26カ所中17カ所は補助対象となる予定である。箇所ごとの災害規模が小さいと補助の対象にはならず、一般財源からの支出が増加する。災害が毎年続けば財政面は厳しくなるが、起債等の処置など検討し対処する。

問 農地・農業用施設の災害に対する補助要件の緩和を要望していく必要はないか。

答 国の暫定法で規定されており変更は難しい。再度被害を受けないような補強等に国、県の整備事業を活用できないか検討していきたい。

提案 さまざまな対策を検討し、農業従事者の負担軽減を図ること。



林道災害：一ノ坂・河内線

一般会計補正予算

フォロアアップ支援業務委託料 148万円

問 事業の具体的内容は。

答 4歳児就学準備事業の検査後、5歳児で得意な部分を伸ばし、苦手な部分の克服に関するフォロアアップ事業に留まっていたが、今回、事業終了後に再度検査を行い、比較することで、保護者が成果や課題を把握できる支援案を作成する。

問 検査・検証は誰が行ない、小学校との連携はどのような方法で実施するのか。

答 専任の臨床心理士が包括して行い、支援案の資料は保護者の同意を得たうえで、学校側と情報共有するなど、児童支援の一助としたい。

生活道路（三級町道）
路面性状調査業務委託料 398万円

問 調査後の舗装工事の時期と優先順位はどのように計画するのか。

答 補修の必要性を調査し、事業費の算出を行い、財源を確保して実施となる。優先順位は、道路の利用状況、指定通学路、コミュニティバスの経路の他、各地域住民の意見を踏まえ決めた。

提案 生活道路の路面性状調査のみならず、危険箇所の調査も併せて実施すること。

所管事務調査

基山っ子みらい館の管理運営状況

基山っ子みらい館は、子育て交流広場と基山保育園を併設して運営されている。交流広場では、ファミリーサポート事業をはじめさまざまな事業が展開され、充実した状況がうかがえた。

基山保育園では、各保育室を年齢別園児数に応じて移動させ、衛生面や安全面を含め、保育環境確保に努めていた。

当委員会としては、保育士等の労務負担の軽減、園児の体力向上を補える遊具の設置、送迎時の車両との接触防止対策等の検討を行うよう提案した。



基山っ子みらい館

一般会計補正 4億4595万円追加 予算総額 79億7865万円に

■ 主な事業 ■

東明館甲子園出場に激励金

第103回全国高等学校野球選手権大会に初出場。
事業費203万円。(専決処分)

豪雨災害復旧調査

8月豪雨により林道施設26カ所、公共土木施設
35カ所に被害。事業費8780万円。(専決処分)

教育支援センター11月開所

保健センター内に支援員を配置し、不登校児童
生徒の学習支援や保護者の相談に当たる。
事業費117万円。

ため池転落防止看板設置

町内の防災重点農業用ため池 8カ所に設置。
事業費500万円。

JR職員を町へ受入れ

JRがコロナ禍のため、1名を役場職員として3
年間雇用する。事業費202万円。

おもてなしマップ刷新

コロナ禍が長期化するなかで、地域の経済の回
復と活性化を目指して、基山町のイベントや暮
しの情報を発信することで、町内外の方々へ「お
もてなし」の向上を図る。事業費100万円。



新築マンション内に保育所開設



東明館高校

中山間地域を支援

県の中山間チャレンジプロジェクトとして選定
した「そのべfarmers」(園部地区の農業者14名
で構成)を支援。新たな商品開発や事業を創出
する。園部地区から小倉、宮浦の中山間地へ波
及させ、農業の活性化を図る。事業費53万円。

避難所にパーテーション設置

感染症対策として、パーテーション50張と床
マット50枚を整備して3密を避け、疲労の軽減を
図る。事業費104万円。

手洗い場改修で感染軽減

町内の公共施設の手洗い場の蛇口をワンプッ
シュ式またはレバー式に改修する。
事業費400万円。

小中学校に自動検温機追加

登校する際に、非接触型の検温器で体温測定を
することで感染拡大を防止する。各学校2台導
入。事業費120万円。

民間マンション内に保育所

JR基山駅南民間マンション内に、小規模保育所
を新設し子育て支援を図る。事業費1650万円。



問 学校トイレ生理用品常備を

答 小中トイレ1カ所に試行



松石信 男議員



女子トイレに設置

問 コロナ禍で社会問題化している「生理の貧困」についての見解は。

答 コロナ禍の影響で収入減や育児放棄、性教育知識不足などで起さる問題。家庭、学校、職場など社会全体の問題として捉えている。

問 全国では581の自治体が学校や公共施設のトイレに無料配布している。町内小中学校トイレに生理用品の常備や災害備品として備蓄を求める。

答 小中トイレ1カ所に生理用品があるということを周知する。災害時には調達する。女性消防団で

避難所運営について検討する。

PTA会費、生徒会費、クラブ活動費助成検討

問 就学援助で3月の議会で「支給に向け検討」と答弁されたが。

答 国の補助対象にされているので、PTA会費、生徒会費、クラブ活動費を、新たに助成対象にすることを検討する。

問 新型コロナウイルス 臨時医療施設整備を全国では自宅療養で死亡者も

問 県内の自宅療養者が152人(9月5日現在)。全国では自宅療養中に死亡者も出て、「救える命が救えなくなる」異常だ。入院ができて重症化を防ぐ大型の臨時医療施設の早急な整備を求める。

答 県は軽症者向け臨時医療施設を開設する。伊万里市と佐賀市にホテルを確保し病床数を増やしている。1人暮らしの感染者は自宅療養にはしていない。



問 中山間地域の振興策は何か

答 今後、具体策を推進していく



鳥飼勝美 議員

問 自然豊かな基山町を形成している中山間地域は、農業の衰退、少子高齢化による後継者不足等により集落機能の低下が懸念されているが、その対策は。

答 国による中山間地域等直接支払制度で、町内7地区の集落に組織活動費が交付されている。

問 狭あい道路の改善を。

答 現在町道の補修計画を検討中で、今後、優先順位を付けて実施していく。

問 中山間地域の活性化策は何か。

答 担い手農家への農地の集積、森林管理への支援、分家住宅への規制緩和、空き家バンクで農地付き空き家の紹介等。農業の振興策としては、「棚田法」の指定に向けて申請中で、指定を受けるとこれまで活用できなかった中山間地域関連事業が活用できる。

問 中山間地域活性化基本計画を

策定する考えは。

答 棚田法の指定後に「棚田地域振興活動計画」を策定していく。



中山間地の棚田の風景

問 園部団地の建て替え事業の現状は未だ建て替え事業の実施計画が策定できないのはなぜか。

答 入居者への説明会、アンケート調査等を行い入居者への合意形成へ向けて努力している。

問 まず町が実施計画を示し、合意形成を図るべきではないか。

答 現在合意形成が図られていないので、実施計画は策定できない。



問 若い世代の接種率アップを
答 重要なものと考えている



栗野 久明 議員

町のワクチン接種の状況

問 感染者数と接種率および予約の状況は。

答 9月6日現在167人感染し、40歳代以下の子どもを中心とした若い世代の感染が増えている。1回目の接種率は予約と合わせて77・3%となっている。

問 若い世代の接種率向上についての考えは。

答 感染しても本人の重症化を防ぎ、同居している家族や友人、職場同僚への感染を防ぐ効果が得られるなど重要なものと考えている。

問 集団接種事業終了の目安とその後接種体制は。

答 1回目の接種率は予約を含め75%を超え、申し込み者が減っていることもあり、9月19日まで1回目を完了し、2回目の接種が終えるまで継続した後、集団接種事業は一旦休止する。その後は住民のニーズが高い個別接種により

接種事業を継続する。

子育て支援事業の課題解決

問 数多く手がけている事業の課題と対策はどのように実施か。

答 事業の計画作成時では、アンケート調査や意見交換会等を実施し町民のニーズや課題の把握に努め、その後は関係施設の連絡調整のための6園合同会議を定期的の実施し、情報共有や課題解決のための意見交換を行っている。



子育て支援の基山っ子みらい館



問 基山PAにスマートIC計画を
答 難しいプロジェクトになる



品川 義則 議員

問 小都市福童地区に整備される味坂スマートIC計画の実現までの経緯は。

答 味坂スマートICは、平成28年11月に地元区長会が主体となり、味坂スマートIC建設整備促進期成会が設立され、平成29年度には国から準備段階調査箇所の採択を受け、平成30年度に新規事業化が決定、令和2年度工事着手、令和5年度完成予定である。



スマートIC

問 基山PAにスマートICを整備するための課題は何か。

答 基山PAのスマートIC整備

に当たっては、地域住民の合意形成が図られなければ検討は難しい。県境の場所のため筑紫野市との連携が必要なのでさらに難しいプロジェクトになる。

問 県境を跨ぐプロジェクトにはなるが、筑紫野市・小都市と連携できれば地域住民にとって良い計画にならないか。

答 将来的な計画であれば可能性はある。筑紫野市の土地も含めた計画なら色々な土地利用ができる。

観光協会の今後の展望は

問 観光協会の事務局が、商工会から産業振興協議会へ移行するが、今後の観光行政の展望は。

答 基山町の財産である神社仏閣・観光農園・町内のさまざまな職人の技などを目玉にできないかと、ここ数年取り組んでいるのでコロナ禍後に前に進んでいくようにしたい。



問 行政のデジタル化とDXの推進を

答 住民サービスに繋がり導入する

大久保 由美子 議員



問 デジタル化とDXとは何か。

答 デジタル技術やデータ、AIを活用し、行政の事務作業の効率化をはかることにより確保した時間を、住民の利便性やサービス向上につなげていく仕組み作り。

問 なぜ今、行政のデジタル化やDXの推進なのか。

答 ICT技術の進展と住民への浸透、またコロナ禍で不要不急の外出を避け、自宅でスマートフォン（携帯電話）を使い行政手続きするニーズの高まりも要因。国も「自治体DX推進計画」を策定、計画期間を令和8年3月までとした。

問 行政のデジタル化の事例を。

答 マイナンバーカードとスマートフォンを連携させ、申請や証明取得など、さまざまな行政手続きをスマートフォンで行うなど。

新設したプラチナ社会政策室とは

問 設置された目的は何か。



困りごとの相談受けます

答 高齢者の1人暮らし世帯や高齢者のみ世帯が増加している。個別訪問をして健康状態、困りごとの相談等を受けて、それぞれの方に合うきめ細やかな支援ができる体制を整備するために設置した。また、新型コロナウイルスワクチン接種に関する臨時的業務も併設する。

問 重点的に取り組む政策は何か。

答 個別訪問で生活状況をまとめた個別カルテを作成し、支援する。

中山間地等の人口減少対策は

問 中山間地における就農への取り組みや、企業誘致等を行っているが、人口減少への対策は。

答 当該地域は市街化調整区域であるため、土地利用の規制があるが、県の開発許可要件が緩和されたことで分家住宅の建築や、既存建築物を活用した古民家レストラン等、地域コミュニティ維持のための施設への用途変更が比較的容易に行えるようになった。

問 県道久留米基山筑紫野線（17号線）各インター周辺は住宅地として開発を検討すべきでは。

答 現行の都市計画マスタープランでは、田園ゾーンとして位置付けられているので、今年度行う同プランの見直しで、町民の意見を踏まえて、将来のまちの姿を見直していきたい。



問 17号線周辺の宅地化を

答 都市計画の見直しで検討

松石 健 児 議員



多方面移動に利便性が高い17号線

町内の流域治水への取り組みは

問 想定外の豪雨による河川氾濫を防ぐため、新たな流域治水の対策が必要であると思うが。

答 河川のしゅんせつ（堆積土砂の撤去）と併せて、河川にたどり着くまでの側溝等の水の流れが、今後の開発等によって適正に行われているか確認する必要性は感じている。

その他の質問

公共工事計画の検討の経過は。



問 国土強靱化計画による防災・減災対策を
答 土砂災害防止施設の整備と適正管理



天本 勉 議員

問 8月豪雨による被災状況はどうか。

答 住宅地ののり面崩壊1カ所、町道33カ所、法定外公共物2カ所、林道では、寺谷線、一の坂・河内線など26カ所、農地17カ所、農薬用施設1カ所被災している。

問 復旧の見通しはどうか。

答 町道、法定外公共物の33カ所については、土砂撤去等の応急対応を行い、9月下旬に終える予定。林道被害26カ所うち17カ所は、国の災害復旧事業となるので11月頃に査定を受け復旧していく。また、農地および農業用施設12カ所についても、国の査定後12月頃に補助金申請を行い、復旧していく。

問 平成25年12月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が施行され、基山町では、令和3年3月に「基山町国土強靱



整備が進む治山ダム

化地域計画」が策定されている。今後、基山町の「安心・安全なまちづくり」を推進していくなかで、この計画をどう反映、活用していくのか。

答 防災・減災の対策を行う上では、基本的な事項として「緊急性」「必要性」「効果」などの観点から、総合的に判断し土砂災害防止施設の整備を進めていくとともに、整備した施設の適正な維持管理を行うこととしている。

問 地域公共交通をもっと便利に
答 コミュニティバス本桜線を増便



中村 絵 理 議員

問 今年度のコミュニティバスへの取り組みは。

答 10月から多目的グラウンド駐車場にバス停を新設、さらに本桜線を1便増設する。また、けやき台地区で自動車による移動や運搬をスムーズに行うための実証実験も予定している。

問 本桜線は1日5便になるが、もう1便増やせないのか。

答 状況を見て好評であれば来年度に向けて検討する。

問 75歳以上の運賃を無料にするべきではないのか。

答 公平性の観点から利用者には相応の負担をお願いしているが、広い視点から研究をする。

問 デマンドタクシーなどの検討は行っているのか。

答 けやき台地区で予定されている実証実験の中にデマンドバスの

取り組みが含まれている。

その結果を踏まえ検討する。



新しくお目見えした1号車

基山駅前トイレの建て替えを

問 天井の強化ガラスが破損し利用者には不便が生じた。施設は築39年である。近々に建て替えられないのか。

答 トイレの建て替えは町独自の資金で行わなければならない。適切なメンテナンスで維持管理に努める。

提案 公共施設等総合管理計画見直しの際には最優先で建て替えの検討を願う。



問 通学路の防犯対策は十分か

答 P T Aや地区と連携して取り組む



末次 明議員

こども110番の家の充実を

問 通学路で子どもたちを不審者などから守るのに、こども110番の家は最適なシステムだ。子どもたちは十分認識しているか。

答 重要性は十分認識している。新1年生には「きやま あんしん まっぷ」を配布し周知している。110番の家には、いざという時の対応マニュアルを配り対応していただいている。

問 こども110番の家が目立たない。のぼり旗は黄緑色だが、赤色など目立つ色にして定期的に取り換えていただきたい。配布方法も検討せよ。

答 今回の質問を考慮して、配布方法やのぼり旗以外の設置も検討していく。

問 通学路の点検と課題対策は。

答 8月に関係団体と交通安全防犯対策について合同で実施した。課題を共有し改善に努める。

問 小中学校での感染症対策は

答 文科省の通知が基準になる。学級閉鎖や休校は8月に出た対応ガイドラインが基になる。子どもたちの健康面については生活アンケートを実施、スクールカウンセラー等の専門家にもつなげている。



こども110番の家

問 窓口を設け、町の終活支援を

答 高齢者一人一人に寄り添っていく



大山 勝代議員



問 定住促進課が作成した「マイエンディングノート」は高齢世帯全てに配布すべきではないか。

答 福祉課・定住促進課・憩の家に置いてある。また、民生委員に言えば手に入れることができる。

問 町民が相続等の身辺整理を考えた時、行政書士や弁護士への直接の相談はハードルが高い。町への相談はできるか。

答 町も相談を受ける。社会福祉協議会も「ふれあい相談」を無料でやっている。

問 町民にとって、自身の終活と遺産等の整理は重大な問題だ。総合的な窓口を設けて町の支援を求めたい。

答 相談者が安心して人生を送ることができるよう、「プラチナ社会政策室」を中心に一人一人に寄り添っていききたい。

補聴器購入の公的助成を

問 簡易の聴力検査を気軽に行ってももらえる場はどこにあるか。「通いの場」ではできないか。

答 今年11月からはじまる70歳・75歳の「介護予防健診」時に、簡易聴力チェックができるよう検討したい。

問 補聴器は値段が高すぎて購入できないという高齢者に対して、町の助成制度を設けてほしい。

答 プラチナ社会政策室が1人暮らしの方宅を訪問し実態調査をして、支援の方法を検討したい。



マイエンディングノート



問 町の認知症の現状・実態は
答 昨年より48名増

河野 保久 議員



問 町の認知症の実態は。

答 認知症と判断される日常生活自立度Ⅱ以上の方は7月末現在で477人。昨年より48名増。

問 認知症サポーター養成講座、キッズ認知症サポーター養成講座の現状・実績は。

答 令和2年度で2回開催し40名の参加。キッズサポーターの講座は基山・若基小で開催し127人の児童が受講。コロナ禍の影響で受講者は減。今年度は中学生向けのキッズサポーター養成講座を11月に開催予定。

問 ステップアップ講座は。

答 令和2年度は、コロナ禍のため未開催。今年度は4月に開催し5名の方が受講。今後も定期的に開催し、認知症への理解・対応について学ぶ機会として継続していく。

問 認知症地域支援員の活動は。



認知症カフェの活動

答 認知症関連の講座の講話を行うなど普及啓発を行っている。個別訪問も実施し、家族相談会や介護保険の周知に努めている。

問 認知症カフェの運営は。

答 町内4カ所でボランティアにより運営されている。

問 今後に向けて検討している施策等は。

答 介護予防検診で認知症に関するチェックを行い、介護と認知予防を連携して行うようにしている。

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	結果
意見書	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	採択 (全員賛成)
陳情書	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	全議員に配布
	人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること	全議員に配布
	国に対し、改めて民法750条を速やかに改正し、選択的夫婦別姓制度の導入を求めることについて	全議員に配布

令和3年 第4回基山町議会定例会の予定

12月6日(月)～16日(木)

一般質問 12月7日(火)～9日(木)

※この会期日程等は、状況により変更することがあります。

令和2年度一般会計決算











歳入総額111億2450万円・歳出総額108億7957万円

歳入・歳出差引額（形式収支額）は、2億4493万円の黒字で、翌年度に繰り越すべき財源（繰越明許費等）5060万円を差し引いた実質収支額は、1億9433万円となった。

また、町債残高66億5505万円、基金残高25億9407万円となり、自主財源構成比は、43.0%（前年度54.3%）となった。

●町民一人当たりに使われたお金（一般会計） 62万4832円

人口17,412人で計算（令和3年3月31日現在）

民生費 24万6330円 児童、高齢者、障がい者の福祉の推進等 	総務費 13万4189円 総務管理、財産管理、地域振興、税務事務等 	教育費 6万3328円 学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進等 	土木費 6万1470円 道路、公園、公営住宅の整備等 	衛生費 3万7618円 ゴミ、し尿の処理や健康増進事業等 
公債費 3万2951円 これまでの施設整備等で借りたお金の返済分と支払利子の合計 	農林商工費 1万6834円 農業、林業、商工、畜産業等の振興 	災害復旧費 9289円 自然災害等で破損した道路や河川、公園などの「公共土木施設」の復旧等 	議会費 5396円 議員報酬や議会運営等 	その他 1万7427円 消防費、その他の支出 

令和2年度 特別会計決算・下水道事業会計決算

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	19億7789万円	18億3283万円	1億4506万円
後期高齢者医療	2億5509万円	2億5490万円	19万円

	収益	費用	純利益
下水道事業会計	4億2215万円	3億7080万円	5135万円

消防団の再編計画 まず町が基本方針を示せ

決算特別委員会審査(令和2年度決算)

小規模災害にも支援制度の創設を

問 最近、豪雨により毎年のように農地が被災している。復旧事業は補助対象の規模要件の下限が40万円以上である。補助対象外の規模(40万円未満)の農地についても何らかの対応が必要ではないか。

答 災害復旧事業の暫定法で国の採択基準を基に補助している。この採択基準以下を町単独での支援を行うことは、町の財政負担にも繋がるので慎重に考えたい。

提案 補助対象外の災害復旧事業の補助制度について、他市町村の先進事例の調査を行い、支援制度の創設を含め血の通った農業施策を展開し、中山間地域の農業の振興・維持を図ること。

基 金

問 用途の自由度が高い財政調整基金の積立額は、令和2年度決算額で3億8555万円、令和3年度積立額の見込みは約6億円の予定に対し、減債基金の積立額は95万と少額である。今後減債基金の積立を増やして、起債の繰上げ償還を積極的に行っていくべきではないか。

答 まずは、自由度の高い財政調整基金の積立を優先し、ある一定水準に達すれば減債基金の積立についても検討して行きたい。

町議会では、毎年9月の定例会において決算特別委員会を設置し、昨年度の決算を審査している。

令和2年度一般会計は、新型コロナウイルス感染症対策関連で国庫支出金が21億5078万円あり、歳出決算額は108億7957万円となった。町執行部に対して、委員会の審査や質疑を真摯に受け止め、今後の予算編成に生かし、町民福祉の向上および財政の健全化に努めるよう求めた。

消防団の再編による改善・発展を

問 まず、町が基本的な方針を示して、将来を見据えた消防団のあり方を進めていくべきではないか。

答 本年2月に総務文教常任委員会との意見交換会、4月に町長と消防団員、7月には消防委員会と消防団員の意見交換会を行った。さらに、今後の進め方について議論しており、問題解決に向けて具体的に動き出している。

提案 消防団員や地元の意見などを踏まえ、これからの消防団のあり方について、まず、行政が主導して再編計画を含めた基本的な方針を示し、早急な改善および発展に努めること。



消防団の出初式

決算審査意見書

代表監査委員 太田 博史
 監査委員 天本 勉

町の財政運営状況

令和2年度一般会計収支は歳入111億24百万円、歳出108億79百万円で、実質収支額は1億94百万円の黒字となっている。当年度の収支が黒字かどうかは「実質単年度収支」で見ると、令和2年度は過去3年間続いた赤字が33百万円の黒字に転換した。

また、町税などの自主財源は、3億27百万円の減少、地方交付税などの依存財源は20億17百万円の増加となった。

歳入については、引き続き企業誘致の推進や地域経済の活性化に取り組み、自主財源の充実確保を図るとともに、国庫支出金、寄附金など財源の創出拡大に取り組み、持続可能性を高めつつ、揺るぎない財政基盤の構築に努められたい。

特別会計の収支状況

令和2年度国民健康保険特別会計・後期高齢者特別会計は、一般会計からの繰入れもあり黒字を保っているが、国民健康保険は保険収入（3億77百万円）より約8億70百万円多い保険給付費（12億48百万円）を負担しており、毎年一般会計より多額の繰入れが続いている。

健全な財政運営のため、保険税の収入率向上に努めるとともに健康の保持・増進を推進し、特定健診受診率の向上や医療費の適正化に向けた取り組みに努めること。

基金積立金の状況

令和2年度末の基金積立残額は25億94百万円で、昨年度末より2億87百万円増加している。これはふるさと応援寄附基金の増額によるもので、5年前の40百万円から令和2年度末には10億36百万円まで大幅に増えており大いに評価できる。

今後、ふるさと納税の返礼品として加工商品の開発等で地域経済を向上させ更に増収を図るとともに、今回改正された企業版ふるさと納税制度および寄附の対象とな

る地方創生プロジェクトの案内を本町と関わりのある企業に積極的にを行い、企業版ふるさと納税の増収を図りたい。

町債残高と償還金利子

令和2年度末の町債残高は66億55百万円、償還金利子は35百万円となっている。支払利子は10年前に比べ、約1億円減少している。借入金を減らす意義は大きいと考えられる。今後も、将来世代に過度な負担を残さないため

に、これまでの町債残高縮減の方針を堅持していくこと。

今後の財政運営

今後の財政運営に当たっては、将来にわたって健全な財政運営を確立するためには税源の涵養を推進するとともに、今後、新型コロナウイルス感染症が住民生活にもたらす影響を見極めつつ、引き続き移住定住の促進、企業誘致の推進、地域の産業・農業の育成に努めること。

◆過去5年間の基金積立金残高の推移 (単位：百万円)

区分 年度	財政調整基金	減債基金	その他の基金	合計
平成28年度	562	66	1,531	2,159
平成29年度	590	39	1,719	2,348
平成30年度	505	14	1,955	2,474
令和元年度	438	1	1,868	2,307
令和2年度	386	1	2,207	2,594

◆過去5年間の町債残高の推移 (単位：百万円)

区分 年度	借入額	元利償還額			年度末残高
		元金	利子	計	
平成28年度	414	647	67	714	5,974
平成29年度	770	527	56	583	6,217
平成30年度	421	505	48	553	6,133
令和元年度	824	515	42	557	6,442
令和2年度	752	539	35	574	6,655

第9回町議会と語るろう会開催

日時 11月4日(木)～7日(日)
場所 町民会館1階会議室

木・金 18時～20時
 土・日 10時～12時

基山町議会では、これまで8回にわたり町民の皆さまと、町の問題や課題などについて、さまざまな視点から意見交換を行ってまいりました。今年度は平日お越しいただけない方も都合がつくように、土

日にも開催いたします。時間内でしたらお好きな時間にお越しいただけます(新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします)。皆さまの参加をお待ちしています。

あなたの声を

第9回 町議会と語るろう会

基山町民会館1階会議室

11/4 (木)	18:00 20:00	テーマ：防災、まちづくり 総務文教常任委員会
11/5 (金)	18:00 20:00	テーマ：道路、災害 厚生産業常任委員会
11/6 (土)	10:00 12:00	テーマ：教育、安心安全(防犯) 総務文教常任委員会
11/7 (日)	10:00 12:00	テーマ：子育て支援、移住定住 厚生産業常任委員会

時間内でしからお好きな時間にお越しいただけます(申込み不要)
 新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

松石信男 議員 令和3年度 県政功労者知事表彰を受賞

この県知事表彰は、市町議会の議員として20年以上地方自治の育成発展に貢献し、特別の功績がある者に対し贈られるもので、今回、当議会の松石信男議員に贈られました。受賞おめでとうございます。



基山町議会 議場にて

子ども議会は、今年度も新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため中止致しました。

編集後記

新型コロナウイルスとともに

町議会議員になって2年と半年、新型コロナウイルスが確認されたのはその12月でした。もう2年近くも続くさまざまな制限に、全てが青息吐息と諦めにも似たお声も数多くお聞きしております。

そんな中、黄色の彼岸花の写真を頂きました。

花言葉は「深い思いやりの心」。心が疲れた人を救ってくれるような気がし、あと少しの辛抱。

この冊子が発行される頃には季節外れの花となりますが、写真を送って下さった方の優しさがとても嬉しく、ここに掲載させていただきました。(中村絵理)



秋の訪れを感じる彼岸花

広報広聴常任委員会

委員長	栗野 久明	委員	大久保由美子
副委員長	松石 信男	委員	天本 勉
委員	末次 明	委員	中村 絵理